

日本メディア学会
第40期第6回理事会 議事録

日時：2026年1月10日（土）10：00～12：30

場所：Zoomによるオンライン開催

出席者（22名）：理事＝阿部、飯田、伊藤、太田、音、澤、四方、千葉、津田、辻、中、西田、林、藤田（真）、
藤田（結）、松尾、松永、水越、光岡、山口、山腰 / 監事＝土屋

欠席者（3名）：理事＝河崎、小黒 / 監事＝柴野

事務局出席者（3名）：安、藤嶋、松村

1. 審議事項

1. 第40期第5回理事会議事録（案）について（総務担当）

→ 原案通り承認された。

2. 優秀論文賞選考委員の委嘱について（執行部）

→ 原案通り承認された。今後、選考委員歴が委嘱者にとって業績として明示できるよう、ホームページへの掲載等の対応を検討することが確認された。

3. 制度改革ワーキンググループからの報告と提案（制度改革ワーキンググループ）

→ 制度改革ワーキンググループから、①法人化の検討、②賛助会員制度の拡充、③若手研究者の活動機会の拡充について、理事会への提案事項を含む、これまでの検討経過の報告がなされた。法人化については、関連学会への調査・ヒアリング結果として、社会的信頼性の向上や会計・契約実務での制度的整理が可能になる側面がある一方で、長期的な検討を要する事項であり、選挙制度の抜本的見直し、移行手続きにともなう事務負担など、多くの課題も共有された。賛助会員制度については、会費区分や特典等を明確化し、制度の周知を含めて拡充していく方向性が提案された。若手研究者の活動機会の拡充については、大会発表における表彰制度の創設、「修士論文報告会」の発展等が提案された。本件はいずれも結論を得る段階ではなく、当面は情報共有および論点整理を含めた継続審議とし、今後の理事会にて段階的に検討を進めることとした。

4. 2026年春季大会について（企画委員会）

→ 2026年春季大会は、開催校を武蔵大学とし、開催日程を2026年6月27日（土）・28日（日）

とすることが報告され、承認された。あわせて、募集スケジュールとして、研究発表等の応募締切を2月7日（土）とする旨が説明され、確認した。

5. 企画委員会の委員の追加について（総務担当）

・宇田川敦史会員（武蔵大学）

→ 承認された。なお、制度改革ワーキンググループとの兼担を認めることが確認された。

6. 修士論文報告会の開催について（研究活動委員会）

→ 社会情報学会と共催で実施する修士論文報告会の開催について、原案通り承認された。

7. 論文の転載許可について（編集委員会）

→ 谷川舜会員の論文転載依頼について、承認された。

8. 会員の入退会について（総務担当）

→ 入会希望4名、退会希望3名について、承認された。

9. その他

→ とくになし。

2. 報告事項

1. 一般会務報告

1) 事務局報告

→ 委員会および分科会の予算執行の注意点について、会計担当より報告された。

2) 委員会報告

(1) 企画委員会

→ 秋季大会が無事に開催されたことについて、謝意が示された。

(2) 研究活動委員会

→ とくになし。

(3) 編集委員会

→ 『メディア研究』108号の刊行が当初予定より遅れる見込みである旨の報告があった。

(4) 国際委員会

→ とくになし。

(5) 学会制度改革ワーキンググループ

→ 今次の報告と提案に至るまでの準備状況として、2025年12月11日（木）にヒアリング結果の取りまとめ作業を行い、同年12月27日（土）に第2回ワーキンググループ会合を開催した旨の報告があった。

(6) ダイバーシティ推進ワーキンググループ

→ とくになし。

2. その他

→ 春季大会に合わせて行われる第9回理事会の日程・方式を確認した。

以上